

## 就任のご挨拶

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度も総会は書面総会の形式とさせていただきました。6月中に、議事内容について会員の皆様のご了承をいただくことができ、令和4年度の会長を拝命いたしました、台東区立浅草中学校長の瀬川 眞也です。本研究会の目的である「中学校技術・家庭科教育の研究と振興」のために尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



昨年度は、会員の皆様のご協力とご支援のもと、「第60回全日本・関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会」をオンラインによるライブ配信とオンデマンド配信を併用して開催することができました。全国から800名を超える参加があり、本研究大会への関心の高さが伺えました。昨年度の研究大会の研究主題は「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し創造する生徒の育成を目指す技術・家庭科教育 ～問題を見極め課題を設定し解決する学習活動を通して～」と設定し、題材の工夫や指導計画の工夫についての研究を行い、成果として技術分野では、発達段階に応じた技術の見方・考え方が鍛えられ、問題を見極め、課題を設定する生徒を育成することができたこと、家庭分野では、生徒が課題をもって、家族や地域の人々と協働し、よりよい家庭生活に向けて考えることのできる生徒を育成することができたとの発表がありました。学習指導要領が全面実施になった年に、このような研究成果を発表できたことは、大変意義深いことだと思っております。

今年度は、昨年度の研究の課題であった、「解決した課題以外の問題点見いだしたりする態度や様々な学びの振り返りを通して自らの学習を調整しようとする態度などを適切に指導し、評価する方法」についてさらに研究を深めるために、研究の副題を「問題を見極め課題を設定し解決する学習とその評価」として、研究を進めることとしました。今年度もコロナ禍の状況は続いておりますが、リモートや対面での活動を織り交ぜながら、研究活動を進めて参ります。

また、今年度は「第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会」が12月にオンラインを活用して東京で開催されます。11月に実施予定の「ものづくりフェア in TOKYO」や1月開催予定の全国大会と同様、日々お忙しい中とは存じますが、大会運営に会員の皆様のご協力をお願い致します。

最後になりましたが、本研究会の様々な情報については、ホームページを活用して発信してまいります。技術・家庭科約1000名の会員の皆様には、本研究会の成果を日々の授業に活用するとともに、情報交換を活発に行うことで、技術・家庭科のさらなる発展につながっていただければと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。